

「グローバルフェスタJAPAN2014」開催

01



日本の国際協力についての疑問を田中明彦JICA理事長らに質問するAKB48のメンバー

10月6日は国際協力の日。毎年、この日に近い週末に開催される日本最大級の国際協力のイベント「グローバルフェスタJAPAN」が、10月4、5日に東京・日比谷公園で開催されました。2日目は、台風接近に伴う悪天候で中止になったプログラムもありましたが、両日で約7万8000人が来場し、日本の国際協力を盛り上げました。

今年のテーマは、「Smile Earth 地球の明日へ、笑顔のタネまき」。日本の政府開発援助（ODA）が始まって60周年の記念の年であることから、例年にも増して力の入った企画が盛りだくさん。主催者である外務省、認定NPO法人国際協力NGOセンター（JANIC）、JICAをはじめ、NGO、国際機関、各国大使館、企業など294の団体が出展し、それぞれの取り組みについて紹介しました。

初日のオープニングセレモニーに花を添えたのは、人気アイドルグループ「AKB48」のメンバー。日本の国際協



JICAのブースでは、クイズの全問正解者に世界各国の民芸品をプレゼントする企画などが行われた

力についての質問コーナーをはじめ、ライブコンサートではヒット曲に合わせマサイ族とコラボレーションしてダンスを披露するなど、会場が熱気で包まれました。

JICAのブースでは、国際協力の60年の歴史を振り返るパネル展示やクイズコーナー、JICAボランティアについての紹介などが行われ、多くの来場者が訪れました。外務省が企画した写真展「女性が輝く世界」では、国内外で活躍する女性の姿が写し出された写真の数々が展示されました。

その他にも、JICAオフィシャルサポーターの北澤豪さんがスポーツと国際協力について語るトークショー、アフリカや中南米でJICAボランティアの事業を視察した真戸原直人さんが「ポーカー」を務めるロックバンド「アーダーグラフ」のスペシャルライブなど、さまざまな形で国際協力や開発途上国に触れる方法があることを学べた2日間となりました。

「女性が輝く社会」を世界に発信!

02



テーマごとに議論が行われた分科会の全体会合には、世界各国から84人が参加した

9月12、14日、女性の活躍促進に向けた方策を世界に発信することを目的に、「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム（WAW）Tokyo 2014」が都内で開催されました。13日は、24カ国、6つの国際機関、国内から80人以上のパネリストが参加し、安倍晋三内閣総理大臣らがスピーチしました。

田中明彦JICA理事長は、「これからの『人間の安全保障』と女性」がテーマの分科会に参加しました。アメリカ国務省のキャサリン・ラッセル女性問題担当大使や国連開発計画（UNDP）のヘレン・クラーク総裁らと共に、食料・栄養、保健、農業、経済などについて議論する中で、女性の農業への参画の度合いを高めることで農家の経済状況を向上させたJICAのケニアでの事業を紹介。また、女性のエンパワメントへの戦略的な投資を行うといった提言の取りまとめにも貢献しました。

パキスタンでのポリオ撲滅事業がDACより表彰

03



5歳未満児に対するワクチン接種を促進することでポリオの感染拡大を防ぐ

ポリオがまだ流行しているパキスタン。日本は2011年から2013年に円借款を通じて、ポリオ・ワクチンの調達と投与のためのキャンペーン実施をサポート。目標が達成されればパキスタン政府の円借款の返済をビル・メリンダゲイツ財団が肩代わりする「ローン・コンバイン」を採用し、早期撲滅に向けた取り組みを行いました。

今年10月、この事業が開発途上国で広く適用できると評価され、経済開発協力機構の開発援助委員会（OECD/DAC）が新設した「DAC賞」に入賞しました。

パキスタンでのポリオ新規発生件数は、2012年に58件に減少したものの、武装勢力によるキャンペーンの妨害などにより今年10月までに200件を超える増加を見せています。ポリオ感染拡大を止めるために、今後もJICAは国際社会と協力し、支援を続けていきます。